

第 363 回静岡エフエム放送番組審議会議事録

1. 日 時 令和 2 年 7 月 7 日 (火) 11:05～13:15
2. 場 所 静岡エフエム放送本社会議室
3. 番組聴取合評 [番組名] PLAY LIST 27 to 29
[放送日時] 令和 2 年 7 月 3 日 (金) 27:00～29:00
[出演者] izumi
4. 出席者 [委員] 委員長 木宮敬信 委員 小野晃司
委員 山本りさ 委員 服部乃利子 委員 加藤裕治
- [会社] 代表取締役社長 今井学
編成事業本部長 久保田克敏 制作本部長 杉山啓充
制作本部制作担当部長 寺田和史

5. 事務局報告

- コロナ禍における聴取状況及び営業状況の件
- 4 月の組織変更の件

6. 番組審議

- [対象番組] PLAY LIST 27 to 29
- [放送日時] 令和 2 年 7 月 3 日 (金) 27:00～29:00
- [出演者] izumi
- [番組内容] スマホとラジオの親和性を活かし、リスナー自ら選曲し
プレイリストを制作する深夜番組。

[聴取・合評での主な意見]

山本委員 全体的に聴き易い。izumi の話し方はゆったり落ち着いていて、分かり易く伝わってくる。選曲に特色があって、受動的な聴き方にこの番組の意義を感じる。4 人のリストがあって、飽きない構成だ。

服部委員 izumi の声が深夜帯に合っている。語彙力もあって表現力が豊か。「圧倒的なリスナー参加型」という楽しさ。コンセプトが面白い。しかし、音源までリスナーが用意する、というハードルの高さは気になる。SNS からラジオリスナーへと、どのようにつながるのかも興味深い。

加藤委員 番組コンセプトが面白く、リスナーのこだわりを感じる。izumi はハキハキしていて聴き易いが、プレイリストによってはややぎこちない、というか、距離を感じるコメントがあった。正直ピンときていない選曲だったのかもしれない。

小野委員 番組の仕組みが面白く、その仕組みを説明する izumi も分かり易い。アドリブ時のコメントと原稿読みの抑揚にやや大きい違いがあり、そこは気になった。プレイリストを誰のために作っているのか、というイメージをもう少し詳しく聞きたかった。

木宮委員長 リスナーにプレイリストを送ってもらう、というチャレンジングな番組。後にアップされる Spotify との違いを出すのは izumi のコメント力が大切。その意味では「誰が選んだのか」という要素が肝要のはずだが、それが匿名性の高い一般リスナー、という部分に何ともいえない居心地の悪さ・違和感がある。例えば選曲者のプロフィールを可能な範囲で紹介する等、より細かな選曲テーマ設定にする、というのはどうか？最も、多くの応募が来るようになれば、やがて洗練されていくのかもしれない。現在はまだまだ多くはないとの事なので、今後の展開が気になる。プレイリストに対する izumi の批評力も、時に必要かもしれない。しかし「このような企画の番組をやってみよう」というチャレンジ精神は、評価したい。

会社サイド 前回(第362回)では夫婦の掛け合いの妙を評価頂いた一方、番組テーマ方向性についてご指摘頂きました。今後の番組作りに反映させ、改善するようにいたします。

次回開催日 令和2年9月1日(火) 11:00~12:30を予定

以上

番組審議会委員長

木 宮 敬 信